

法人向け外為被仕向送金消込サービス「MRCS」の提供開始について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、法人向け外為被仕向送金消込サービス「MRCS（Mizuho Remittance Control Services）」（以下、「本サービス」）の提供を、6月1日（月）より開始します。なお、外為被仕向送金の消込作業をサポートするサービスは、邦銀初となります（特許出願中）。

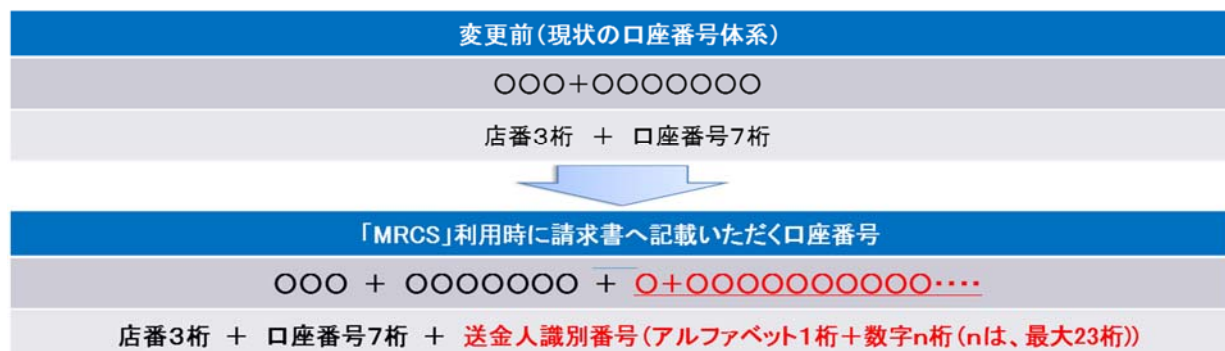
海外送金は、国内送金と異なり、関係者間でやり取りをする情報量や介在する関係者が多いことに加え、送金フローの中で経由する銀行の手数料が発生する等、「送金人名」、「金額」、「メッセージ」等の項目が当初想定した内容と異なる形で送られてくるケースが多く、お客さまが着金時に取引を特定するには多大な時間がかかっていました。

こうした状況を踏まえ、みずほ銀行は、受取人の「口座番号」については他の項目に比べ正確な内容で送られてくるケースが多いことに着目し、海外の送金依頼人へ請求書を発行する際に、現在ご利用の「口座番号」に「送金依頼人識別番号」を組み合わせた番号を「口座番号」として通知することで、受取人が「口座番号」から送金依頼人や当該取引を特定する実証実験を行いました。その結果、着金時の早期消込が実証できたことから、本サービスの開発に至りました。

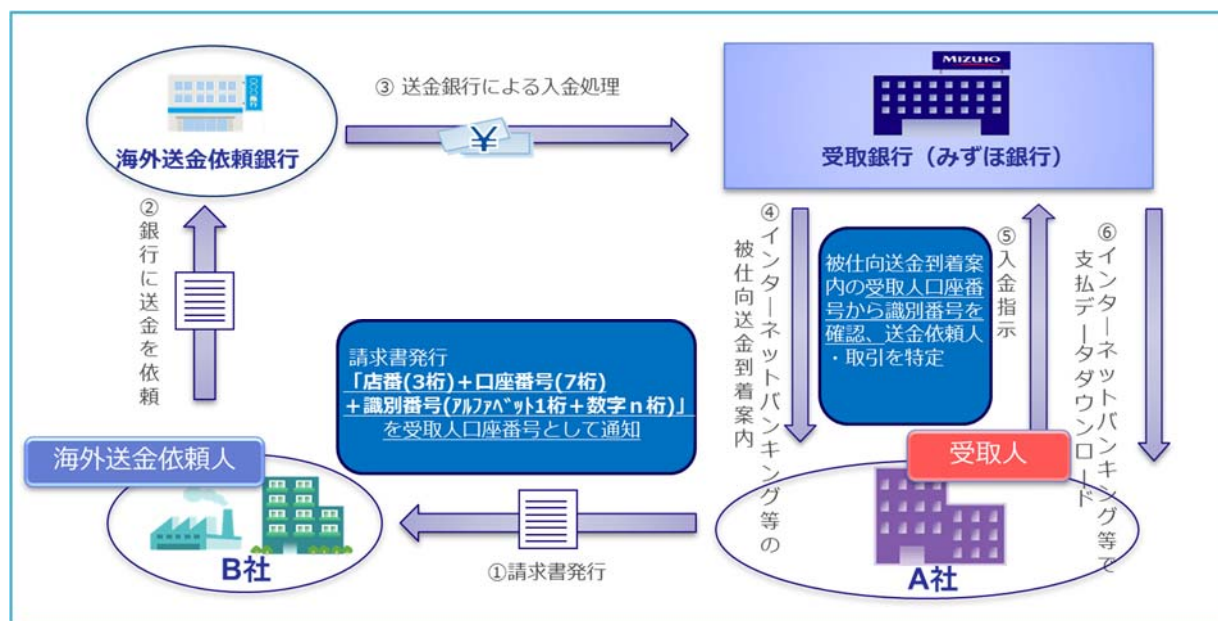
本サービスの利用による正確な口座情報に基づく取引確認作業により、消込作業時間が短縮化され、長年の課題であったお客さまの事務負担軽減が見込まれています。

<本サービスの概要>

「MRCS」をご利用される際には、口座番号体系が変更となります。
変更前およびご利用時の口座番号体系は次の通りとなります。



<本サービスを活用した海外送金フロー>



<本サービスのメリット>

- ◇送金依頼人・取引等の特定が容易になり、消込作業の大幅な事務効率化
- ◇識別番号はお客さまにて自由に採番可
(アルファベット1桁+数字n桁(nは、最大23桁))
- ◇お申込みいただいた翌日からご利用可能

<本サービス導入にかかる費用>

- 【初期契約料】・・・30,000円(税抜)
- 【月間基本料】・・・5,000円/月(税抜)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモートワークが増えています。本サービスの導入により、在宅での作業でも短時間で取引を特定でき、事務作業の効率化が見込まれます。

今後も「オープン&コネク」の実践により、〈みずほ〉の有する知見やネットワークとお客さまのアイデアや技術を組み合わせることにより、一層のサービス向上を目指していきます。

以上